

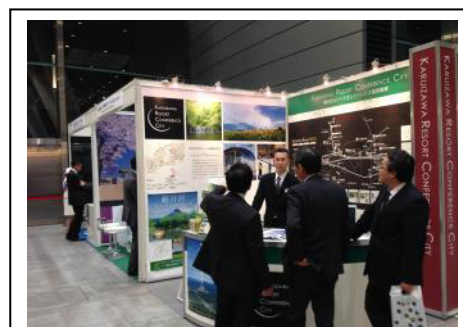
## 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	軽井沢MICEプロジェクト
事業主体 (連絡先)	軽井沢リゾート会議都市推進協議会 (一般社団法人軽井沢観光協会 0267-41-3850)
事業区分	(6)オその他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,361,808 円 (うち支援金 : 1,771,000 円)

### 事業内容

長野県におけるリゾートMICEの先駆けとして、閑散期に企業の会議・研修、学会、スポーツ等を誘致するための広告宣伝活動を実施した。

今回は、国内外への広告宣伝の機会である、国際ミーティングエキスポ (IME) が12月9・10日に開催された東京フォーラムに出展をした。



【会場の様子】

### 【目標・ねらい】

- 旅行会社、企画会社との情報共有
- 国内外への情報発信
- MICE施設、プログラムの情報発信
- 軽井沢MICEブランドの向上

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

今回MICEプログラムの具体的な提示をすることで、新たなMICE需要を閑散期に誘致できると思われた。国内外の旅行会社、企画会社に具体的なプログラムを提示し、体験いただき、評価をしていただくことで、宣伝にもなり、商品としての魅力も伝わった。

### ※自己評価(事業効果) 【B】

#### 【理由】

軽井沢リゾート会議都市としての認知度が低い。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回、出展をして、来場者の方に、軽井沢の会議都市としてのイメージが弱いと感じた。観光地、避暑地としてのイメージが強いのか。今後さらに、リゾートMICEとしての軽井沢の広告宣伝を実施していきたい。

協議会として、備品を配置して貸し出して会議を誘致していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある